

横 手 市 議 会 定 例 会

市 長 所 信 説 明

令和元年12月

横 手 市

第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が^{ひら}く^{かがや}くまち よこて

基本計画 政策・施策

政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
【健康福祉】

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 【施策 1-1】子育て支援の充実 | 【施策 1-4】障がい者（児）福祉の充実 |
| 【施策 1-2】健康な心と体づくりの推進 | 【施策 1-5】低所得者福祉の充実 |
| 【施策 1-3】健康でいきいきとした高齢社会の推進 | 【施策 1-6】福祉を支える人材の確保と育成 |

政策2 学びの充実とスポーツの振興により、生きる力と豊かな心を育みます
【教育文化】

- | | |
|--------------------------------|--------------------------------|
| 【施策 2-1】横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実 | 【施策 2-4】活力ある地域と心豊かな人を創る生涯学習の推進 |
| 【施策 2-2】安全で安心して学べる教育環境の整備 | 【施策 2-5】よこての伝統文化の継承と再発見 |
| 【施策 2-3】元気なまちを築く生涯スポーツの促進 | |

政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
【生活環境】

- | | |
|-------------------------------|-----------------------|
| 【施策 3-1】安心して暮らすことのできるまちづくりの推進 | 【施策 3-3】災害に強いまちづくりの推進 |
| 【施策 3-2】美しい自然環境と快適な生活環境の保全 | 【施策 3-4】循環型社会の一層の推進 |
| | 【施策 3-5】エネルギーの地産地消の推進 |

政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
【産業振興】

- | | |
|--------------------|---------------------------|
| 【施策 4-1】魅力ある農林業の振興 | 【施策 4-4】観光・物産資源の発掘と発信 |
| 【施策 4-2】活気ある商業の振興 | 【施策 4-5】企業誘致の推進、企業留置と雇用対策 |
| 【施策 4-3】活力ある工業の振興 | |

政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
【建設交通】

- | | |
|--------------------------|---------------------------------|
| 【施策 5-1】雪国の快適な暮らしの実現 | 【施策 5-5】安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理 |
| 【施策 5-2】快適な移動空間の実現 | 【施策 5-6】市民がくつろげる公共空間の整備 |
| 【施策 5-3】市民が利用しやすい公共交通の充実 | |
| 【施策 5-4】地域拠点整備による市街地の活性化 | |

政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
【市民協働】

- | | |
|---------------------------------|----------------------|
| 【施策 6-1】市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実 | 【施策 6-3】情報を共有する環境の整備 |
| 【施策 6-2】男女が尊重し合う社会づくり | 【施策 6-4】市内外との交流連携の推進 |

政策7 横手を思い、市民の想いを実現させる創造的な行政経営を進めます
【行政経営】

- | |
|--------------------------------|
| 【施策 7-1】市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の確立 |
| 【施策 7-2】財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進 |
| 【施策 7-3】戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実 |

目 次

1. はじめに	2
2. 新たな施策等への取り組みについて	4
(1) スクールバスを活用した地域公共交通の実証実験について	4
(2) 令和2年度予算編成方針について	5
3. 令和元年度事業等の進捗状況について	6
(1) 横手市公文書館の設置等について	6
(2) 公共施設の使用料の見直しについて	7
(3) 横手駅東口第二地区市街地再開発事業について	8
(4) プレミアム付商品券事業について	9
(5) 「養護老人ホームひらか荘」民営化法人の決定について	10
(6) 各種健康福祉事業計画の策定状況について	11
(7) 農業振興について	12
(8) 魅力発信の取り組み「リトルよこて」について	14
(9) 雪対策について	15
(10) 増田中学校長寿命化改修工事および十文字小学校建設工事について	15
(11) 消防分署統合事業について	16
4. 補正予算について	17
5. おわりに	18
※行政一般報告編	19

令和元年12月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

まずは告示後のご報告でございますが、報道機関等で報じられております通り、国民健康保険団体連合会において平成20年度から29年度にかけて算定した県内全ての市町村における「高額医療費共同事業」に係る拠出金の額ならびに拠出金に対する国及び県の負担金の額について誤りがあったことが判明いたしました。

拠出金は、県内市町村間での負担の均衡を図ることを目的として各市町村における高額医療費の実績に応じ、連合会において額が決定されますが、この度、過去の拠出金について連合会で検証を行ったところ、当市においては、時効を迎える前の平成27年度から29年度の3か年度分、約3,200万円を多く拠出していることが明らかとなり、今後連合会より返還を受けることとなっております。

一方で国及び県それぞれから、負担金が交付されており、今回の見直しの結果、国及び県から交付された負担金が過大となり、時効を迎える前の平成27年度から29年度の3か年度分、約1億5,700万円を県の指導に沿って自主返還する予定であります。

自主返還にあたりましては、国民健康保険特別会計予算の予備費より返還することを検討しており、国民健康保険税額および基金積立金には影響が生じない見込みでありますことをご報告いたしますとともに、市民の皆様、議員の皆様に対しましては、ご心配をおかけいたしましたことお詫び申し上げます。

1. はじめに

今年度は、梅雨明け以降に好天に恵まれたことなどから、米の生育が順調で作柄が「やや良」となっているほか、ぶどうは糖度が高く食味良好に仕上がり、また、りんごの収穫も順調で、市民の皆様も存分に横手の秋の味覚を堪能できたことと喜ばしく感じております。

その一方、9月、10月と非常に強い勢力の台風が日本列島を直撃いたしました。特に10月の台風19号では、記録的な豪雨により、関東甲信地方ならびに東北南部の太平洋側を中心に各地で河川が氾濫し、亡くなられた方が多数にのぼるほか、住宅の浸水、土砂災害、電気・水道等ライフラインの寸断、公共交通機関の運休等、多くの方の日常生活に甚大な被害をもたらしました。あらためまして、亡くなられた皆様のご冥福をお祈りいたしますとともに

被害にあわれました皆様に心からお見舞い申し上げます。

当市といたしましても、台風１９号による被害発生直後に緊急消防援助隊として宮城県伊具郡丸森町へ消防隊を、宮城県角田市へは家屋被害認定調査のための職員を、また、８月の九州北部豪雨被害の復旧対応として佐賀県多久市へ職員を派遣し、災害現場活動や被災された方の生活再建に向けた支援を行ったところであり、被災地域の日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、今年の秋、初の試みとして自転車で横手の景色と味覚を楽しんでいただく「第１回かまくら・ライド」が９月２２日に開催され、県内外から３１７名の方々にご参加いただきました。コース中に複数設けられたエイドステーションでは、横手やきそばをはじめ旬のぶどうやいものこ汁などが地域の皆様より振舞われ、参加された自転車愛好者の方々には横手の魅力が存分に伝わったものと、主催された実行委員会ははじめ、このサイクリイベントにご尽力されました皆様に、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

また、今年５月にリニューアルオープンいたしました横手市増田まんが美術館の来館者数は、９月に１０万人の大台を突破し、その後も当初の想定を上回るペースで多くの皆様にご来館いただいております。加えて増田地域では、１０月６日に２年ぶりとなる「蔵の日」が開催され、会場となった中七日町通り周辺は県内外からの多

くの観光客でにぎわったところであり、マンガ文化の魅力を、伝統的町並みをはじめとした地域の貴重な資源と結び付け、より多くの皆様に横手へお越しいただけるよう意欲的に取り組んでまいります。

2. 新たな施策等への取り組みについて

(1) スクールバスを活用した地域公共交通の実証実験について

スクールバスを活用した地域公共交通の取り組みにつきましては、かねてより市民の皆様をはじめ、議員の皆様などから、ご提案いただいておりますが、この度、年度内を運行開始の目途とした実証実験を実施したいと考えております。

実施は、雄物川地域を中心とした西部地区とし、運行経路につきましては、雄物川町柏木を起点に、館合地区、大雄藤巻などを経由し、終点を市立大森病院とした、県道湯沢雄物川大曲線沿いの約15キロメートル、乗車料金につきましては一律200円とし、児童生徒の送迎がなく、学校活動によるスクールバスの稼働が少なくなる午前9時から午後2時までの間に、2往復計4便の運行を予定しております。

地域の皆様はじめ乗車いただく方々のご意見を頂戴しつつ、本格運行実施の可否を見極め、このような実証実験を通じて本市におけ

るより良い公共交通のあり方を模索してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

(2) 令和2年度予算編成方針について

令和2年度の当初予算編成につきましては、市の総合計画の前期計画の最終年度にあたることから、同計画における基本目標の達成を目指すとともに、新たな課題の解決にも積極的に取り組んでまいります。

来年度の歳入見通しについてであります。主たる歳入の一つである普通交付税は、合併算定替えの終了により令和3年度まで減少が見込まれるなど、一般財源の見通しは引き続き厳しい状況にあり、財政調整基金やふるさと応援基金など各種基金の活用により必要な財源を確保してまいります。

歳出の見通しにつきましては、十文字地域小学校統合事業や旧環境保全センター解体事業、雄物川新庁舎・十文字地域多目的総合施設の整備等の継続事業や横手駅東口第二地区市街地再開発事業など、建設事業を中心に支出の伸びが想定されます。

厳しい予算編成となっておりますが、持続可能な財政運営を行うとともに市民満足度の向上を図るべく、行政評価の結果をもとに各事業間の予算配分にメリハリを付け、一つの施策で複数の効果を

狙う等、事業内容により一層の工夫を凝らし、効率的かつ効果的な予算編成を進めてまいります。

3. 令和元年度事業等の進捗状況について

(1) 横手市公文書館の設置等について

平成29年度から着手しております公文書館整備事業が、まもなく完了する見込みであり、現在、令和2年春の開館に向け、施設の運営体制等の整備を進めているところであります。

旧鳳中学校校舎を改修したこの施設は、横手市の歴史資料として重要な公文書その他の記録を保存し、市民の皆様にご利用いただくとともに、歴史的公文書等を後世に伝えることを目指します。

今後は、各庁舎に分散し保存している歴史的公文書を集積し、資料としての評価選別作業を段階的に行いながら閲覧目録を更新し、横手市の歴史を知るうえで有益な施設となるよう万全を尽くしてまいります。

なお、公文書館内には、フリースペースを確保するほか、会議や研修などを行うための有料スペースも設けることとしており、周辺地域の皆様はもとより多くの皆様にご利用いただければと考えております。

(2) 公共施設の使用料の見直しについて

生涯学習施設や体育施設など、当市の公共施設は多くの市民の皆様にご利用いただいておりますが、料金設定と利用条件につきましては、合併以前から変わっておらず、加えてこれまでの消費税率改定に伴う見直しも実施されてこなかったため、受益者負担の観点からは公平性及び妥当性に欠けたものとなっております。このような状況を改善するため、この度、令和2年4月1日より公共施設の使用料につきまして、根本的な見直しと改定を実施したいと考えております。

使用料の改定にあたりましては、いわゆる貸館施設を中心に、施設ごとに算出した年間の維持管理コストをベースとした統一的な基準により算定し直し、かつ貸出時間の単位を1時間といたします。分かりやすい料金体系へと改定することにより、利用者の皆様の利便性の向上を図り、かつ公平性と妥当性を確保することとしております。

なお、使用料の減免につきましては、令和2年8月までは現行の取り扱いを継続いたしますが、令和2年9月1日以降は、新たな取り扱いによる減免を実施することとしており、内容の検討を進めております。

また、維持管理コスト等に基づく見直しの対象とならない施設の

入館料やテナント料などにつきましては、令和2年4月1日より、10パーセントの消費税を課した金額に改めることといたしました。

ご利用の際には、一定の負担増をお願いすることとなりますが、市民の皆様、議員の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

(3)横手駅東口第二地区市街地再開発事業について

この度、横手駅東口第二地区市街地再開発準備組合におきまして、施設配置計画の決定がなされましたので、その内容についてご報告いたします。計画によりますと、A街区と呼ばれる旧ユニオンビル周辺敷地には図書館もある公益施設を配置、B街区と呼ばれる横手ステーションホテルから平源写真館周辺敷地にはホテルや金融・オフィス機能などを含む共同ビル・ホテル棟を配置、C街区と呼ばれる秋田ふるさと農業協同組合本店周辺敷地には集合・賃貸住宅棟を配置という、整備に関して3つの大まかなゾーニングが決定されております。準備組合では、今年度中に事業内容や建築物の基本設計、資金計画などを含む事業計画を作成する予定とのことであります。

3つの街区のうち、A街区に配置される図書館もある公益施設につきましては、『人と人とが「つどい、つながる」交流拠点』というY2ぷらざ側との共通コンセプトのもと、「学び・創造・成長」

をテーマとした新たな機能について検討を進めております。隣接するY2ぷらざや、B・C街区との一体感や機能連携を考慮しつつ、図書館の機能を含め、幅広い年齢層・利用形態に対応した居心地の良い居場所づくりやビジネスシーンでの活用など、市民の皆様の様々な学びや成長を支援する場となるよう準備を進めてまいります。

(4)プレミアム付商品券事業について

消費税率引き上げに伴う消費への影響を緩和し、地域経済を下支えするため実施しておりますプレミアム付商品券事業につきましては、対象となる皆様あて関係通知を送付し、10月1日から商品券の販売及び使用期間に入っております。

住民税非課税者向けの購入引換券の申請状況ではありますが、11月11日現在、対象者1万8,077名に対し、購入引換券の申請者数は5,764名で申請率は約31.9%、そのうち引換券交付者数は5,674名で、対象者数に対する発行率は約31.4%となっております。

また、子育て世帯につきましては、対象者1,633名分の購入引換券をすべて発行しております。

商品券の販売状況ではありますが、11月11日現在で、購入引換券発行者数が7,307名、プレミアム分を除く販売予定額1億

4, 614万円に対し、実際の販売額は7, 105万2千円であり、その割合は約48.6%となっております。

住民税非課税者向けにつきましては、購入引換券の申請自体が低い状況にありますので、10月28日に再度個別に案内通知を差し上げるなど、勧奨に努めているところですが、引き続き市報などを活用し、申請の呼びかけを行ってまいります。対象となっております皆様におかれましては、ぜひご利用くださるようお願いいたします。

(5)「養護老人ホームひらか荘」民営化法人の決定について

令和5年度からの民営化移行を目指し、手続きを進めておりました養護老人ホームひらか荘につきましては、市内2つの社会福祉法人からの応募があり、民営化法人候補者選定委員会において審査いただいたところ、社会福祉法人相和会を民営化法人の優先候補者として選定した旨の報告がございました。

これを受けて市では、入所者への安定的・継続的なサービスの提供、市の非常勤職員の処遇、施設整備計画及び収支計画の妥当性、法令等を遵守した事業運営等、様々な観点から検討した結果、適切な施設運営が期待できると判断し、選定委員会報告のとおり、社会福祉法人相和会を民営化法人として決定いたしました。

今後は、スムーズな民営化移行に向け、覚書の締結等各種手続きを進めるとともに、より良いサービスの提供につながるよう法人との協議を重ねてまいります。

(6)各種健康福祉事業計画の策定状況について

今年度、改定時期を迎えております「第3次地域福祉計画・地域福祉活動計画」につきましては、2名の公募委員を含む合計15名の委員による策定委員会を設置し、アンケート調査による市民のニーズを把握しながら、社会福祉協議会と一体となって改定作業を進めております。

同じく改定時期を迎えております「第2期子ども・子育て支援事業計画」につきましても、アンケート調査のほか子ども・子育て会議を開催し、素案の検討を行っております。

また、今年度、中間評価を迎えている「第2期健康よこて21」につきましては、目標値の達成状況の分析・評価等を実施しており、この結果をもとに、中間評価策定委員会において協議・検討を進め、計画改定作業を行うこととしております。

これらの計画につきましては、今後、パブリックコメントを実施し、市民の皆様からのご意見を反映しながら、今年度中の策定を予定しております。

(7) 農業振興について

この度、農林水産省が公表した10月15日現在の水稻予想収穫量及び作柄概況によりますと、県南は10アールあたり608キログラムで、昨年度比42キログラムの増加となり、作況指数は「104」の「やや良」で推移しております。

J A全農あきたが発表した、今年のあきたこまち60キログラム当たりの概算金は、昨年比200円増の13,300円と、5年連続の増額となりました。平成30年産米の販売に見通しが立ったことや、令和元年産米も卸売業者との販売契約状況が順調であることが価格の上昇に繋がったものと認識しております。

また、国による米の生産数量目標の配分が廃止されてから2年目となりますが、当市といたしましては、引き続き、国や県の動向を注視しながら、農業者の皆様が集荷業者の皆様と情報を共有し適切な米の生産量を判断できるよう市農業再生協議会を通じて支援していくこととしております。

次に、園芸作物につきましては、「すいか」は、5月からの好天により品質もよく、収量も増加したことから、消費地の天候不順の影響はあったものの、市場においての評価が高く推移し、数量で前年比770トン増の5,986トン、J Aの販売額は約12億7百万円となり、前年比109パーセントとなっております。

「りんご」につきましては、8月の強雨・降雹による一部被害や台風の影響が心配されましたが、収穫や出荷作業が順調に進んでいます。今後、出荷の最盛期を迎える主力品種の「ふじ」については、収量、単価とも、ほぼ平年並みに推移しておりますので、今後の販売に期待しているところです。

続いて主な事業の進捗状況についてであります。農業者の皆様の経営安定化を支援するため、今年度融資枠の大幅な拡大など制度の拡充を図りました横手市農業経営安定化対策資金、いわゆる「マル農」につきましては、10月末現在で105件、3億5千6百万円の申し込みとなっております。前年度と比較し、申請件数で4倍以上、申請額で3億円以上と大きく増加しており、より多くの農業者の皆様に活用いただいております。

また、農業用ドローン支援事業につきましては、12台の導入で事業費ベース2,200万円の実績となっております。米の生産量や品質の向上等に資するべく、今後もドローンの技術開発が進むことが想定されるため、より一層需要が伸びていくものと見込んでおります。

さらに、農作業の効率化・負担軽減を図るためのパワーアシストスーツ等の購入助成につきましては、今年度から果樹以外にも対象を拡大し実施しております。10月末現在、41台の導入で事業費

ベース3, 800万円の実績となっており、今後も多くの農業者の皆様にご利用いただけるものと考えております。

(8) 魅力発信の取り組み「リトルよこて」について

9月10日から15日までの6日間、「全国一賑わいのある商店街」と言われている武蔵小山商店街において、横手の魅力を発信する物産展「リトルよこて」を初めて開催いたしました。これは、横手の特産品を販売することはもとより、地域産品を通して、交流人口や関係人口へつなげるきっかけを作ることを目的に行ったもので、期間中は、よこてファン通信などで募集したボランティア19名の方々に物産展運営の応援をいただきました。

会場には、多くのお客様がご来場され、買い物や、交流コーナーでの「お茶っこ飲み」をしながら、横手弁の飛び交う店内で、横手の雰囲気存分に楽しんでいただきました。

今後は、横手ファンの皆様をはじめ、商店街に訪れた方々などの意見を取り入れながら、この「リトルよこて」を発展させ、市の魅力を発信する有力な手段として更なるファンの獲得につなげてまいります。

(9)雪対策について

今年度の除雪体制につきましては、今月 1 日に除雪対策本部を設置し、同日から出動可能な体制を整えております。

今冬においても、安全な交通の確保と作業事故の防止を図るとともに、効率的できめ細やかな除雪作業に努めてまいります。

また、第 2 期横手市総合雪対策基本計画は、3 か年の計画期間の 2 年目を迎えております。今年度は、アクションプログラムに基づき、これまでの継続的な取り組みに加え、GPS を活用した除雪管理システムの導入など、道路除排雪作業の適正管理に向けた新たな取り組みにも着手しております。

引き続き、市民の皆様と行政、事業所が一体となり、協働で行う雪対策を進めるため、アクションプログラムの取り組みを着実に推進し、第 2 次横手市総合計画に掲げる「雪国の快適な暮らしの実現」を図ってまいります。

(10)増田中学校長寿命化改修工事および十文字小学校建設工事について

平成 29 年度より着手しておりました、増田中学校長寿命化改修工事が今月中旬に終了し、改修後の校舎及び体育館で授業を開始しております。工事期間中は生徒及び保護者の皆様には大変ご不便を

おかけいたしました。現在は、仮設校舎の解体を行っており、12月中に完了する予定となっております。

また、本年度より着手しております、十文字小学校建設工事につきましては、杭工事を終え、現在は基礎工事を行っている状況であり、次年度へ向け順調に進捗しております。

(11)消防分署統合事業について

平成28年度より着手しております、消防分署統合事業につきましては、増田・十文字分署を統合した「南分署」が本年4月より本格的に業務を稼働いたしました。

また、雄物川・大森・大雄分署を統合する「西分署」につきましては、施設本体の建設工事に着手しており、今年度中の完成を目指しております。

新たな分署の整備により、機動的な出動体制を確保し、災害対応機能の更なる強化を図ってまいります。

4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、自立支援給付費、公共施設等総合管理推進基金積立金などが主な内容となっております。

補正額は、2億9,274万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、576億3,418万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ 地域公共交通費	91万	円
-----------	-----	---

◎ 地籍調査事業	1,449万	円
----------	--------	---

◎ 自立支援給付費	1億3,143万	円
-----------	----------	---

◎ 地域介護・福祉空間整備等施設整備事業

1,148万1千円

◎ 農業生産基盤整備事業	953万4千円
--------------	---------

◎ 公共施設等総合管理推進基金積立金	5,240万	円
--------------------	--------	---

などであります。

5. おわりに

今議会に提案しております案件については、専決処分報告案件 1 件、同意案件 1 件、条例関係 1 2 件、契約関係などその他案件 2 1 件、令和元年度一般会計補正予算案など補正議案 3 件の合計 3 8 件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、
所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 9月議会定例会以降の行事等について ～

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

目 次

(1)横手応援市民学校 なべっこ遠足in東京.....	22
(2)いぶりがっこ農家応援事業.....	22
(3)横手市増田まんが美術館.....	22
(4)令和元年度東京かまくら会総会	23
(5)第96回増田の花火	23
(6)2019増田「蔵の日」	23
(7)第54回りんごまつり	24
(8)第34回首都圏増田会総会	24
(9)浅舞八幡神社祭典	24
(10)福祉健康まつり	25
(11)平鹿りんご味覚まつり	25
(12)東京平鹿町会総会並びに懇親会	26
(13)おもフェス2019.....	26
(14)雄物川地域徘徊見守り講座	27
(15)第49回雄物川芸術文化祭	27
(16)大森地域文化祭	27
(17)「東京都大田区大森」との交流	28
(18)健康の丘おおもりまつり	28
(19)十文字まるごとマルシェ.....	28
(20)十文字秋の収穫祭2019.....	29
(21)十文字西地区交流センターまつり	29
(22)いものこまつりin鶴ヶ池.....	29
(23)さんない古里会総会	30
(24)第42回山内文化祭	30
(25)大雄地域集落座談会	30
(26)たいゆう緑花園.....	31
(27)第13回大雄芸術文化祭.....	31
(28)児童虐待・DV防止講演会.....	31
(29)横手ものづくりネットワーク会議.....	32
(30)かまくらライド2019	32
(31)第51回よこて菊まつり.....	32
(32)イングリッシュ・アドベンチャー2019	33

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

(33)2019 サタデー・イングリッシュ	33
(34)家庭教育支援事業「子育て講座」	33
(35)宝くじ文化講演 海援隊トーク&ライブ2019.....	34
(36)横手市バドミントン教室	34
(37)第4回よこてシティハーフマラソン	34
(38)第6回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン.....	34
(39)横手市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会	35
(40)第59回奥羽横断駅伝競走大会.....	35
(41)横手市創作子ども歌舞伎「極付 御存知後三年蛙會戦」の上演	35
(42)令和元年度 後三年合戦沼柵公開講座	35
(43)雄物川郷土資料館第3回特別展「刀剣展」の開催	36
(44)後三年合戦金沢資料館第2回特別展示「中山人形展」の開催.....	36
(45)第4回横手市子ども伝統芸能発表大会の開催	36
(46)「発酵伝承よこてだいすき ワークショップ2019」の開催.....	36

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

	概 要 等
まちづくり推進部 (地域づくり支援課)	(1)横手応援市民学校 なべっこ遠足in東京 10月6日、ホテルルポール麹町(東京都千代田区)にて、「横手応援市民学校なべっこ遠足 in 東京」を開催し、首都圏在住の10代から80代までの105人の方々にご参加いただきました。 当日は、給食の授業として、横手市の旬の食材をご賞味いただき、また、特別授業として、当市のふるさと納税・就農・起業などの取り組みを紹介させていただいたほか、関係人口に関する時間を設け、ご参加いただいた皆様に横手との関わり方・新しい応援方法について様々なご提案をいただきました。 横手市の応援市民として今後も積極的に関わっていただくお気持ちを強く感じた事業となりました。
まちづくり推進部 (地域づくり支援課)	(2)いぶりがっこ農家応援事業 11月2日から4日までの3日間、横手市応援事業として「いぶりがっこ農家応援事業」を実施いたしました。 当事業は横手市の応援事業として実施したもので、首都圏等に在住の2人の方に、実際に大根の収穫・洗浄等の作業を行っていただき、人手不足に悩むいぶりがっこ農家を応援していただきました。 全国の横手市出身者やふるさと納税者の方々などの関係人口が、どのように横手に貢献し、地域課題を解決していくかを検証するための貴重な機会となりました。
まちづくり推進部 (文化振興課)	(3)横手市増田まんが美術館 5月1日にリニューアルオープンしました横手市増田まんが美術館は、展示内容の充実や原画保存の可視化、またオープニングイベントの開催や「鋼の錬金術師展」をはじめとした特別企画展の開催、そしてまた、増田の町並みと連携を図りながら強力にPRしてきた結果、来館者数を伸ばし9月23日には来館者10万人を達成することができました。 今後も指定管理者である横手市増田まんが美術財団および関係者と連携しながら魅力ある事業を推進し、横手市全体の経済波及効果に繋がられるよう、取り組んでまいります。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (横手地域局)	(4)令和元年度東京かまくら会総会 9月14日、東京都千代田区のアルカディア市ヶ谷において、首都圏在住の横手地域出身者による「東京かまくら会」総会が開催されました。 当日は、総勢140余名が出席し、当市からは、市関係者、商工関係者、横手市他地域のふるさと会役員などが出席したほか、秋田県東京事務所所長、友好都市那珂市の総務部長のご出席もあり、盛大な会となりました。 総会に続く懇親会では、再会を喜び合い、故郷の思い出や地域の現状について語り合う姿が見られました。また、会場内に設置された「物産販売コーナー」は、懐かしい味を買い求める人たちににぎわいました。 最後は、会場一体となって「青い山脈」を歌い、来年の再会を約束して閉会となりました。
まちづくり推進部 (増田地域局)	(5)第96回増田の花火 県内随一の開催数を誇り、大正時代から引き継がれてきた「増田の花火」が、一般社団法人増田町観光協会の主催で9月14日に開催されました。 当日は天候にも恵まれ、県内外から訪れた約54,000人の観衆は打ち上げられた約5,000発の花火に魅了されました。 開催にあたり、多くの市民、企業の皆様からご協賛をいただいたことに感謝申し上げます。
まちづくり推進部 (増田地域局)	(6)2019増田「蔵の日」 10月6日、2年ぶりに「増田蔵の日」が開催されました。台風の影響で当日朝まで雨が降る状況でしたが、開催中は晴天に恵まれ県内外から訪れた大勢の観光客で賑わいました。 当日は26棟の建物等が公開されたほか、福嶋サイサイ囃子練り歩きなどたくさんのイベントで盛り上がりしました。 また、増田中学校の全校生徒が家屋やまちなみなどの案内役をつとめ、温かいおもてなしで観光客をお迎えしました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (増田地域局)	(7)第54回りんごまつり 10月20日、「第54回りんごまつり」が、一般社団法人増田町観光協会主催で真人公園を会場に開催されました。秋晴れの暖かな中、メインイベントのミスりんごコンテストには、市内外から9人の応募があり、うち3人の方が「第54代ミスりんご」に選ばれました。今回ミスりんごに選ばれた方々には、今後増田地域の観光PR活動などでご活躍いただきます。 その他、りんごの皮むき競争やリンゴの唄コンテストなど、多彩なイベントが催され、来場者は500人にのぼり、旬のりんごや野菜の即売等は商品を買求めの方で混雑するなど盛況ぶりを見せました。
まちづくり推進部 (増田地域局)	(8)第34回首都圏増田会総会 11月17日、「第34回首都圏増田会総会」が東京上野の会場において盛大に開催されました。 総会では案件が満場一致で承認され、その後の交流会では、詩吟・琴の演奏や会員有志によるカラオケなどのアトラクションが披露されたほか、地元の特産品が当たる大抽選会が行われました。 会員の皆様は、地元増田から駆けつけたお母さん方の作った郷土料理、ふるさとの地酒や漬物に舌鼓を打ち、また、物産品コーナーでは、ふるさとのお土産や食材を買求めています。 いつでも帰れるようでなかなか帰れなくなったふるさとに思いをはせ、年1回のふるさと会を心待ちにしている会員も多く、時には方言も混じる楽しい会話や笑い声が会場内に響いていました。
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	(9)浅舞八幡神社祭典 9月14日、15日の二日間にわたり浅舞八幡神社祭典が開催されました。14日の宵祭りには、旧平鹿地域局前の目抜き通りに、勇壮な武者人形を築山に配し、絢爛豪華に飾られた「飾り山車」10台が集結、笛や太鼓のお囃子と山車の競演に、約15,000人の観客が訪れ、大いに賑わいを見せておりました。 また、旧平鹿地域局前の手作り屋台村では、地元商店、街商、フリーマーケットが出店し祭りを盛り上げ、フィナーレには約800発の色鮮やかな花火が秋の伝統行事に花を添えました。 今後も、各町内と連携を取りながら地域に誇れる祭りとして伝承に努めてまいります。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	(10)福祉健康まつり 10月15日、ゆとり館において「福祉健康まつり」を開催しました。この催しは、地域住民の福祉、健康に対する意識の向上を図ることを目的として毎年開催しているもので、当日は約200名の来館者で賑わいました。 会場では、保健師による健康チェックや健康相談、栄養士と横手市食生活改善推進員の協力による健康料理の試食のほか、結核予防婦人会による健診の受診勧奨を行い、来館者ご自身やご家族の健康について、より関心を高めてもらう機会となりました。 そのほか、浴場の無料開放、民謡・演歌歌謡ショーの開催や、ひらか支え愛ねっとで作成した活動記録の展示を行い、多くの方々に楽しんでいただきました。
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	(11)平鹿りんご味覚まつり 11月3日、「第19回平鹿りんご味覚まつり」がときめき交流センターゆっふる駐車場を会場に開催されました。 このイベントは平鹿りんごを県内外にPRし、産直による消費拡大を図るために、関係自治会、JA秋田ふるさと、県平鹿地域振興局、県果樹試験場の協力により開催しております。 当日は、醍醐保育園児による歌や踊りでオープニングを飾り、りんごを使った皮むき競争、品種当てクイズなどで会場を盛り上げました。 また、テント村では地元農産物の直売や、会場に隣接した特設りんご園でのりんご狩り体験などが行われ、多くの来場者に目と舌で平鹿りんごの魅力をたっぷりと味わっていただきました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	(12)東京平鹿町会総会並びに懇親会 11月10日、東京都墨田区「東武ホテルレバント東京」において、第45回東京平鹿町会総会並びに交流会が開催されました。当日は来賓や会員約100名が出席し、地酒や懐かしいふるさとの味を堪能しながら地場産品が当たる抽選や歌などの余興で、会員同士の交流を深めました。 会場内に設置された「ふるさと物産コーナー」では地酒、漬物、昆布、豆腐カステラなどが販売され、故郷の懐かしい多くの品々を会員の皆様が買い求めておりました。 また、東京平鹿町会総会結成45周年記念企画で、平鹿町出身で前東洋大学陸上競技部コーチの佐藤尚氏による特別講演が行われたほか、平鹿町観光協会提供による地元劇団「劇団かんじき」の公演が行われ、秋田弁が飛び交う喜劇に、会場内は終始笑いに包まれていました。 これからも東京平鹿町会と連携を図り、地域を大いに盛り上げてもらえるよう交流を深めてまいります。
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(13)おもフェス2019 9月14日、雄物川中央公園において「おもフェス2019 Jamaican Music Festival」が開催されました。地域の若者の皆様が実行委員となり、地域を元気にすることを目的として開催したもので、今年で5回目となります。 当イベントは、東北でも珍しいスカ・レゲエに特化したもので、県内外のアーティストによる演奏のほか、雄物川高校生によるよさこい、小中学校のダンスパフォーマンスに観客は一緒に歌ったり踊ったり思い思いのスタイルで楽しんでいました。雄物川高校生によるスイカジェラート販売やボランティアの皆様の協力もあり、約1,500人の観客で賑わいました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(14)雄物川地域徘徊見守り講座 10月17日、雄物川館合地区交流センターを会場に「雄物川地域徘徊見守り講座」を開催しました。これは、市地域包括支援センターと連携して開催したもので、認知症を理解し、徘徊者とその家族を地域で見守ることを目的としたものです。民生児童委員や社会福祉協議会雄物川福祉センター、介護事業所、地域住民を合わせて52名の参加がありました。 職員による寸劇では徘徊者への対処法を学び、曾根医院の曾根院長による講演では認知症についての正しい知識を学びました。 また、米1合をポリ袋に入れて炊く非常炊き出し訓練が日赤雄物川分団によって行われ、参加者に災害への備えを意識してもらう良い機会となりました。
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	(15)第49回雄物川芸術文化祭 10月25日から27日までの3日間、雄物川コミュニティセンターを会場に「第49回雄物川芸術文化祭」が開催されました。 これは雄物川芸術文化協会主催で行われたもので、雄物川小学校児童作品345点、雄物川高校と横手明峰中学校美術部作品25点、一般の部293点、雄物川町芸術文化協会所属団体の部129点の合計792点の作品が展示されました。 27日の芸能発表では10団体143人が出演し、多くの観客を前に日頃の稽古の成果を披露しました。また、特別出演として地元雄物川小学校合唱部、雄物川高校吹奏楽部が日頃の鍛錬の成果を発表しました。
まちづくり推進部 (大森地域局)	(16)大森地域文化祭 10月19日から27日までの9日間、大森地域文化祭が大森コミュニティセンターで開催されました。会場には、市民の力作の押絵や短歌、パッチワークなどの作品の外に、大森小学校児童の自由研究作品や絵画が展示され、来場者は表現豊かな数々の作品に見入っていました。 期間中には、大森町芸術文化協会会員による「芸能発表会」が行われ、ステージ上での熱のこもった唄や踊りに、来場者より惜しめない拍手が送られていました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大森地域局)	(17)「東京都大田区大森」との交流 大田区大森との交流につきましては、地名が縁で小学生交流や物産販売を平成6年から続けています。10月25日は大田区大森町共栄会商店街での農産品販売、11月2～3日は「OTAふれあいフェスタ2019」にて、安全・安心な「秋田・大森産農産物」をPRするとともに、大森町共栄会事務局と交流を深めました。 新鮮な大森産の野菜を待ち望んでいる区民の方が多く、各販売会では、販売開始前からお客様の列が出来、商品を買いたい方で混雑するなど盛況ぶりを見せました。
まちづくり推進部 (大森地域局)	(18)健康の丘おおもりまつり 10月26日に高齢者等保健福祉センター、秋田県南部老人福祉総合エリア、市立大森病院を会場に、健康の丘おおもりまつりが開催されました。地域包括ケアの拠点である健康の丘おおもりを構成する施設を中心に、地域住民と健康について学びながら、楽しい時間を過ごしていただくよう開催しています。 当日は子どもからお年寄りまで多くの来場者があり、出店やバザー等に加え、大森病院長の健康講演やブラボー中谷さんのマジックショー、高橋一郎さんによる民謡歌謡ショーなどを楽しみました。また、ドラマ、バラエティ、CMなど多彩に活躍中である落語家の林家正蔵氏が、これまでの豊かな経験をもとに「明るく、元気に、一生懸命」と題して講演し、会場を埋めた聴衆は感激した様子で聞き入っていました。
まちづくり推進部 (十文字地域局)	(19)十文字まるごとマルシェ 十文字の「医」「食」「住」をまるごと売り出そうというイベント、十文字まるごとマルシェが、9月8日晴天のなか、JA秋田ふるさと十文字支店駐車場を会場に開催され、約2,100人のお客様が訪れました。 このイベントは、地域内に各種医療機関(医)を抱え、地元の安心安全な農産物も豊富であり(食)、駅やインターチェンジなど交通の便に恵まれ、スーパーやホームセンターもあるコンパクトで住みやすい街(住)、十文字の魅力をPRするために開催されました。 会場内では、生産農家直営の軽トラ市や地元飲食店等による美味しい屋台、地元工務店4社の住まい相談会、健康相談会、体験教室などが行われ、ご来場いただいたお客様にお楽しみいただきました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (十文字地域局)	(20)十文字秋の収穫祭2019 11月2日～3日、道の駅十文字を会場に「十文字秋の収穫祭2019」が開催され、約5,000人が訪れました。 11月2日は、十文字産のそば粉を使った新そば試食会や無料豚汁振る舞いが行われ、11月3日には、もちつき体験やメインイベントとして県内各地のよさこい団体15チームによる迫力満点のパフォーマンスが披露され会場は大いに盛り上がりました。 両日最後に行われました定番イベントである麺まき・餅まき・お菓子まきには、子供から大人まで参加し、たいへん賑わいました。
まちづくり推進部 (十文字地域局)	(21)十文字西地区交流センターまつり 11月9日(土)十文字西地区館において、「第2回交流センターまつり」が開催され、老若男女約200名の参加者でにぎわいました。このまつりは、植田・睦合両地区の住民が、コミュニケーションの更なる強化を図ることを目的に行われており、地区の文化祭とも言えるものです。 ホールでは、婦人講座等で作成した手芸やごてんまりの他、十文字和紙や盆栽、川柳等のいろいろな作品が展示されました。 ステージでは、地域で活動している踊り等のグループの発表があり、盛大な拍手が送られていました。また、全国で活躍している辻田与五郎さんの血液型漫談では会場全体が笑いの渦に包まれていました。
まちづくり推進部 (山内地域局)	(22)いものこまつりin鶴ヶ池 9月15日、山内地域の活性化と産業振興を図るため、「第33回いものこまつりin鶴ヶ池」が鶴ヶ池公園ふれあい広場を会場に開催され、好天の下、約34,000人の来場者でにぎわいました。 当日は、「いものこ」をはじめとした特産品の販売が行われ、山内名物の「いものこ汁」は、用意した3,500食が完売するなど大盛況となりました。 また、全国いものこピラミッド競技大会には、市内外から36組が出場し熱戦が繰り広げられたほか、地元の芸術文化協会による歌や踊り、市内4団体のよさこい演舞や、タレントによるものまね、歌のステージショーが行われるなど、多彩なイベントが会場を盛り上げました。 夜の花火大会は、鶴ヶ池の水面を彩る迫力満点の水中花火、スターマインなど約3,200発の花火を楽しんでいただきました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (山内地域局)	(23)さんない古里会総会 11月3日、「第32回さんない古里会総会」が東京都内で開催され、107人が参加しました。 参加者は久しぶりの再会とあって、故郷山内の思い出や近況などについて大いに語り合っていました。また、会場内では、「ふるさと物産展」も開催され、大変好評でした。 総会には、横手市から山内区長会3人のほか、同期会で古里会会員募集のチラシ配付にご協力いただいた同期会実行委員や市民の方々など、合わせて14人が参加し、会員の皆様との交流を深めました。 また、懇親会のアトラクションとして、秋田市出身のバイオリン奏者松尾沙樹さんのバイオリン演奏が披露され、会場は大いに盛り上がりしました。
まちづくり推進部 (山内地域局)	(24)第42回山内文化祭 10月19、20日、山内体育館を会場に「第42回山内文化祭」が開催され、339人に参加いただきました。絵画、書、手工芸などの展示部門には、園児・小学生から127点、一般から180点の合計307点の作品が出展されました。 19日の芸能発表には、10団体63人が日頃の練習の成果を披露し、会場に詰めかけた観客から盛んな拍手が送られていました。
まちづくり推進部 (大雄地域局)	(25)大雄地域集落座談会 8月6日から8月29日まで、大雄地域内の31会場で「集落座談会」を開催しました。これは、毎年、地区会議と共催で行っているもので、今年で12回目となります。各集落とも夜間の開催でしたが、計215人のご参加をいただき、事前に集落の皆様から考えていただいた集落の課題や要望事項について意見交換を行いました。 今回、地域住民の皆様と意見交換をした数の合計は242件であり、いただいた要望や意見は関係部署と検討のうえ、今後の地域づくりに活かしてまいります。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大雄地域局)	(26)たいゆう緑花園 「たいゆう緑花園」は6月に地域の方々や大雄小学校児童、及びボランティアの方々からご協力をいただき、約1.5ヘクタールの敷地にベゴニア、サルビア、コスモスなど5種類の花を定植しました。 9月1日には、「たいゆう緑花園パノラマフェスタ」を開催し、宝さがし、苗木プレゼント等に400人が訪れ、大変賑わいました。 今年で14回目となる「押し花コンテスト」には169点の応募があり、11月23日の審査会で「大人の部」と「子供の部」、それぞれの特選、準特選、入選を決定しました。応募作品は、来年1月末日まで「ゆとりおん大雄」に展示いたします。
まちづくり推進部 (大雄地域局)	(27)第13回大雄芸術文化祭 10月18日から10月21日までの4日間、大雄交流研修館と大雄農業団地センターを会場に、大雄芸術文化祭実行委員会主催の「第13回大雄芸術文化祭」が開催されました。 18日から行われた作品展示には、書道や手芸をはじめとする力作73点余りが展示され、多くの皆様に鑑賞していただきました。 また、19日にはステージ発表が行われ、約200人の観客を前に31組の団体と個人、延べ116人が日頃の稽古の成果を披露しました。
市民福祉部 (子育て支援課)	(28)児童虐待・DV防止講演会 11月は、国の「児童虐待防止推進月間」及び県の「DV防止推進月間」です。これに合わせて、11月2日に平鹿生涯学習センターを会場に、児童虐待やDVのない社会を目指すことを目的として「児童虐待・DV防止講演会」を開催しました。 今回は、保育関係、教育関係者、民生・児童委員など日頃より児童虐待等に関わりが深い関係者が、具体的で実践的な知識や対応力を得ることを目的に、武庫川女子大学の倉石哲也教授からご講演いただきました。参加された関係者の方々は、現場で使える知識が得られ、現場での対応力向上につながりました。 11月3日の午前には、横手警察署と国際ソロプチミスト横手のご協力をいただき、秋田ふるさと村を訪れた多くの方に啓発チラシを配布し、児童虐待防止及びDV防止の意識の高揚を図りました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
商工観光部 (企業誘致課)	(29)横手ものづくりネットワーク会議 10月25日、当市の産業振興を活性化するため、市内企業の本社、親会社、取引先等を対象に、東京都千代田区の「アルカディア市ヶ谷」において、第7回横手ものづくりネットワーク会議を開催しました。 当日は36企業、7団体から80名の参加があり、市長による当市のプレゼンテーション、市内企業2社による企業発表及び横手市産業振興アドバイザー佐藤登氏や横手市企業支援アドバイザー松井康氏を交えたディスカッションに引き続き、横手市産の食材を使ったビュッフェ形式による交流会を開催し、情報交換を行いました。
商工観光部 (観光おもてなし課)	(30)かまくらライド2019 今回が初開催となる「かまくらライド」が9月22日に市内一円をコースとして開催されました。主催は(一社)横手観光推進機構が中心となる実行委員会で、317名の参加者が、105kmのロングコース、36kmのショートコース、20kmのファミリーコースに分かれて黄金色に輝く稲穂の道を五感で楽しみながら疾走しました。 時折小雨の降る中でしたが、地域ごとに設けられた8か所のエイドでは、地域の皆さん方が自慢の果物や特産品をふるまい、「おもてなし」の心を持って参加者との交流を深めたところです。 この事業は横手ファンの獲得と観光地域づくりを進めていく中で大きな方向性を示すこととなりました。
商工観光部 (観光おもてなし課)	(31)第51回よこて菊まつり 第51回よこて菊まつりが10月26日から11月5日までの11日間の日程で、秋田ふるさと村を会場に開催され、約27,500人が来場しました。 会場内では約2,500鉢の菊花が展示されたほか、共催イベントとして「武将隊フェスティバルよこて 菊花の陣」が開催され、遠くは熊本県からも武将隊に出演いただくなど、訪れた観光客を魅了しました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (生涯学習課)	(32)イングリッシュ・アドベンチャー2019 9月28日、29日、釣りキチ三平の里体験学習館において、「イングリッシュ・アドベンチャー2019」を開催し、市内の小学5、6年生17人が参加しました。 この事業は、体験活動や宿泊体験を通じて、集団生活の中で協調性を養うとともに、活動の中に英語学習を取り入れることで、近年のグローバル化に順応できる国際感覚の育成を図ることを目的としています。 講師に、秋田大学留学生など7か国13人を招き、様々な国の文化を、ゲームなども交えながら学びました。最後には、活動グループごとに、楽しかったことや覚えたことを英語やジェスチャーで発表しました。横手に居ながら、二日間英語尽くしの貴重な時間を過ごしました。
教育総務部 (生涯学習課)	(33)2019 サタデー・イングリッシュ 10月5日、19日、11月9日の3回にわたり「2019 サタデー・イングリッシュ」を開催しました。 市内小学校3、4年生を対象に、英語に親しみ、様々な国に興味を持ってもらうことを目的とし、1回目と3回目を南庁舎講堂、2回目は秋田大学を会場に、25名が参加しました。 2回目は保護者と共に秋田大学祭に参加し、秋田大学の留学生らの案内により、色々なブースや催し物を体験。留学生の屋台では、ためらいながらも、英語を使つての挨拶や買い物に挑戦しました。子どもたちの中には、留学生らの本場の発音を何度も聞き返したり、メモをしたりして、熱心に覚えようとする姿も見られました。
教育総務部 (生涯学習課)	(34)家庭教育支援事業「子育て講座」 10月8日から10月30日にかけて、市内全小学校の就学時健診や入学説明会の際に、保護者を対象とした「子育て講座」を実施しました。 家庭での教育力向上を目的とし、今の時期に身に付けておきたい習慣、家庭で心掛けてほしいことなど、教育・保育アドバイザー等を講師に招きお話いただきました。 講演後には、保護者同士で意見交換したり、講師に相談に行ったりと、子育ての悩みは尽きない様子でした。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (生涯学習課)	(35)宝くじ文化講演 海援隊トーク&ライブ2019 11月9日、秋田ふるさと村を会場に「宝くじ文化公演 海援隊トーク&ライブ2019」を開催いたしました。 この公演は、宝くじの社会貢献広報事業として実施するもので、地域の皆様に上質な音楽や演劇及び文化に関する機会を提供し、明るいまちづくりなど地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的としています。 今年度、秋田ふるさと村が開館25周年を迎えることや、これまで横手市と地域の活性化を図るために様々な事業を行ってきた経緯があり、秋田ふるさと村での開催といたしました。 会場は満員となり、来場されたお客様は、海援隊の音楽と武田鉄矢さんのトークで盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(36)横手市バドミントン教室 9月23日、バドミントン競技力向上を目的として、市内中高生を対象にバドミントン教室を開催しました。 当日は、バドミントン元日本代表の小椋久美子さんを講師としてお招きし、参加した中高校生は、世界の舞台で闘った小椋さんからの直接指導に、真剣に耳を傾けていました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(37)第4回よこてシティハーフマラソン 9月29日に第4回よこてシティハーフマラソンが開催され、ハーフマラソンの部、10kmの部、2kmの部、合わせて 1, 031人のランナーが参加しました。 また、当日は、ゲストランナーとしてパナソニック女子陸上競技部の森田詩織選手と清水萌衣乃選手をお迎えし、多くの応援を背に、一般参加のランナーとともに秋の横手路を駆け抜けました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(38)第6回秋田25市町村対抗駅伝ふるさとあきたラン 10月5日から6日の2日間、県内全25市町村が一堂に会し、各市町村を代表する選手による駅伝大会が鹿角市特設コースで開催されました。当市からは2チームが参加し、Aチームが市の部4位、Bチームは総合18位の成績を収めました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (スポーツ振興課)	(39)横手市民スポーツ交流大会グラウンド・ゴルフ大会 10月15日、スポーツを通じた健康づくりを目的として、横手市スポーツ推進委員会主催によるグラウンド・ゴルフ大会が、赤坂総合公園グラウンド・ゴルフ場で開催されました。 当日は秋晴れの中、約180名の市民が大会に参加し交流を深めました。
教育総務部 (スポーツ振興課)	(40)第59回奥羽横断駅伝競走大会 10月25日から27日にかけて、「第59回奥羽横断駅伝競走大会」が開催されました。今回は、北上市役所前をスタートし、横手市、由利本荘市までの117.0km全12区間で競技を行い、県対抗、一般、高校の部合わせて25チームが参加しました。 当日は、秋の奥羽路で襷をつなぎながら疾走する選手に対し、沿道から大きな声援と拍手が送られていました。
教育総務部 (文化財保護課)	(41)横手市創作子ども歌舞伎「極付 御存知後三年蛙會戦」の上演 9月22日に「横手を学ぶ郷土学」事業として、大雄小学校体育館を会場に、横手市創作子ども歌舞伎「極付 御存知後三年蛙會戦」が上演され、市内の4小中学校の児童生徒と保育園児ら52人が稽古の成果を披露しました。 当日は、歌舞伎の芝居小屋さながらに玄関に櫓が組まれた体育館に、400人もの観客が詰めかけ、大雄地域婦人会による芋の子汁の振る舞いを受けながら、横手らしさを随所に盛り込んだ本格的な舞台を通して、後三年合戦の世界を堪能していました。
教育総務部 (文化財保護課)	(42)令和元年度 後三年合戦沼柵公開講座 9月29日に、雄物川コミュニティセンターにおいて、「未発見の城柵解明の取り組みと北の境界領域からみた日本史」と題して、後三年合戦沼柵公開講座を開催いたしました。 当日は、200人の受講者に向けて、国立歴史民俗博物館副館長 林部 均 氏の特別講演「北の境界領域からみた日本史」のほか、沼柵や金沢柵と同様、未発見の城柵である由理柵や雄勝城の解明に取り組んでいる 小松 正夫・高橋 学 両氏にその活動を紹介いただき、沼柵や金沢柵解明の歴史的な意義をともに考える場となりました。

令和元年9月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (文化財保護課)	(43)雄物川郷土資料館第3回特別展「刀剣展」の開催 雄物川郷土資料館では、「刀剣展 姿の美を求めて」を10月12日から開催しています。日本刀は古来よりさまざまな側面を持っており、武器としてだけではなく、美術品としても多くの人々を魅了してきました。 展示会場には、所有者の方々のご厚意により、県指定文化財を含む平安時代から現代までの日本刀が揃い、それぞれの日本刀に込められた精神性と金工の粋、美しさなどを来館者にご堪能いただいております。
教育総務部 (文化財保護課)	(44)後三年合戦金沢資料館第2回特別展示「中山人形展」の開催 後三年合戦金沢資料館では、第3回特別展示として「横手の郷土玩具 中山人形展」を10月19日から開催しています。中山人形は童子・縁起物・芸能物・風俗物・節句物など多岐にわたり、色彩豊かな土人形として全国的に知られています。 会場には、後三年合戦にちなんだ鎌倉権五郎景正の人形をはじめ、たくさんの中山人形を展示するとともに、期間中2回、ギャラリートークを行うなど市内に伝わる伝統の土人形を来館者に楽しんでいただいております。
教育総務部 (文化財保護課)	(45)第4回横手市子ども伝統芸能発表大会の開催 11月4日、横手市民会館を会場に「横手を学ぶ郷土学」事業として第4回目となる、「横手市子ども伝統芸能発表大会」を開催しました。 当日は、八沢木獅子舞保存会はじめ市内6団体の伝統芸能団体が出演し、保存継承活動の成果を披露するとともに、日頃目にする機会が少ないお互いの演目を鑑賞しながら交流を深めました。
教育総務部 (文化財保護課)	(46)「発酵伝承よこてだいすき ワークショップ2019」の開催 11月16日に横手市総合交流促進施設 金沢孔城館を会場に、「横手を学ぶ郷土学」事業として「発酵伝承よこてだいすき ワークショップ2019」が開催されました。ワークショップは、味噌と豆と発酵のお話を学んだ後に、実際に豆の標本作りや7種類の豆を使って味噌づくりを行うもので、体験を通じて多くの親子が地域に伝わる伝統的な食文化を学ぶことができました。